



平成4年3月

第 3 号

仙台市連合町内会長会
市連長会だより

題字は石井仙台市長



仙台国際センター

(仙台市青葉区青葉山 TEL 022-265-2211)

目次

創立二十周年記念式典……………②③

式辞

仙台市連合町内会長会
会長 大沼 悌志

祝辞

仙台市長 石井 亨

区連協活動状況……………④⑦

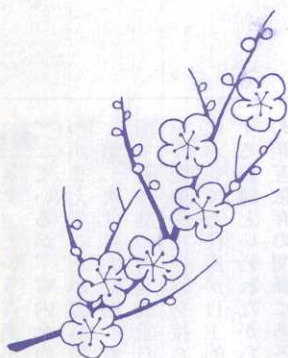
千葉都市モノレール
見学会に参加して……………⑧

都市モノレール等
南西線建設促進期成同盟会

常任理事 玉山 康雄
齋藤 三郎

市連の活動……………⑩

編集後記……………⑩



創立二十周年記念式典

式 辞



仙台市連合町内会長会

会長 大沼 悌 志

本日、ここに「仙台市連合町内会長会」二十周年記念式典を挙行いたしましたところ、来賓各位には公務ご多端のところご臨席を賜りまして厚くお礼を申し上げます。

さて、「仙台市連合町内会長会」は、市長さんを始め関係各位の格別なるご指導ご支援によりまして、ここに創立二十周年を迎えました。

創立当時を顧みますと、四十有余人の有志が苦勞を積み重ねながら会を創立したときの様子がよみがえり懐かし、思い出されます。

また、この二十年の間に故人となられた先輩が少なくないことを思うとき、一抹の寂寥の感を禁じ得ないものがあります。

ものとなって、私の脳裏のなかに残っております。

昭和四十七年に住みよいまちづくりと市民福祉の向上をめざして、四十四地区の連合町内会によって「仙台市連合町内会長会」を結成して自主的に住民自治活動を展開してまいりました。が、平成元年に仙台市は政令市の指定を受け大都市行政に移行して、市民に対してきめ細かな行政サービスを提供することになりましたので、組織を改組して各区にそれぞれ「区連合町内会長協議会」を設立して各区独自に運営がなされることになりました。

このような事由によりまして名称を「仙台市連合町内会長会」と改めて、市民の自治意識の高揚と住民自治活動の活性化を推進し市民福祉の向上に努めてきた二十年であります。

昨今、町内会を取り巻く環境

は変容してまいりました。国では町内会を「新しいふるさとづくり」の核にしようとする計画の策定をはかっております。

また、仙台市政におきましては、二十一世紀を展望した「新しいまちづくり」に向け行政情報提供を始め、「地域懇談会」や「市政懇談会」など広聴事業の拡充強化策により市政への積極的な参加による市民のニーズにこたえ市民全体の市政を目指しております。

住民自治活動に携わるものとして、一段と研さんに励み市政への参加・協力を深化させなければならぬと痛感いたしております。

この二十年の意義ある年にあたり改めて住民自治活動の原点である親睦と融和の絆を強め、住みよいまちづくりを進めて行くことが肝要であると考えております。

思いますと「仙台市連合町内会長会」が今日このような発展を続けることができたのも、市当局をはじめ市議会並びに関係各位のご尽力の賜ものでありまして、この機会に深甚なる感謝の意を表しますと共に、今後さらなる発展のためご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに来賓各位のご健康とご繁栄を心からお祈り申し上げますとともに今後、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

散歩

町内会を語る時、コミュニティという言葉が使われているが、町内会の本質をつかまえることが容易ではない。第二次世界大戦期における軍国主義体制の末端機能の分担という歴史的な経験を持ち、今日においても住民が自主的に結成する組織といわれながら行政との相互依存の関係にあることが多い。◆町内会の源流は、占都である京都において応仁の乱（一四六七～七七）の廃墟の中で住民は、暴力に対抗し生活の安全を守るために、隣保団結の地域団体である「町」が結成されたが織田信長の入京によって町組織は統治の手段に利用された。◆五百余年の伝統をもつ町内会は、新しい時代の住民運動の中にあつてコミュニティ活動を實質的にリードし大きな役割を演じている。◆コミュニティとは、生活の場において、市民として自主性と責任を自覚した個人及び家庭構成員が地域性と各種の共通目的をもち、開放的でありながらも構成員相互に信頼感のある集団である。

人口の都市集中が進展している地域社会には、生活環境問題など都市問題が溢れている。町内会を基盤とした住民の創意的な活動を通じて、住民みずからの力でコミュニティ行政を推し進めるべきである。（相原）





祝 辞

仙台市長 石井 亨

本日、仙台市連合町内会長会創立二十周年記念式典が盛大に開催されましたこと衷心からお喜び申し上げます。

仙台市連合町内会長協議会は二十年前の昭和四十七年に住みよいまちづくりと市民福祉の向上をはかる目的のもとに、四十

有余の連合町内会が団結して住民自治活動を展開してこられました

が、平成元年、政令市への移行とともに各区にそれぞれ区連合町内会長協議会を設立され、

各区独自の運営がなされることとなり名称を仙台市連合町内会長会と改められ、各区連合町内会長協議会と緊密なる連携のもと、地域社会の振興・発展とともに

市政の新しいまちづくりに参加され幾多のご成果を挙げられ今日の隆盛をみました。

このことは、歴代の会長さんを始め皆さまがたの並々ならぬご苦労が実を結んだものであります。

ゆまなご努力によるものでございますが、とりわけ住民自治活動にたずさわる皆さまがたの多年にわたっての献身的かつ指導的な役割を担っていただいたご功勞によるものであると深く感謝を申し上げます、心から敬意を表す次第であります。

激動する現代の社会は、時の流れに添って世相も市民意識も大きく様変わりし、まちの様相も日毎に変貌して都市機能の集積は日増しに進行しています。

他方、市民は暮らしの豊かさ、ゆとりを楽しむ生活拠点としてのまちづくりをめざし住民運動を展開しており、市政への参加

協力の気運が高まりをみせており、市民の主体的な参加による新しく高度な自治をめざした地方自治を創る時代を迎えました。

このような情勢のなかで、その指導的な役割を担うのは「仙台市連合町内会長会」であります。

皆さまがたには、これまで以上に時代の潮流を先見性的に見極め、その役割を正しく果たしていただきたいことを特に願望申し上げます。

仙台市では、市民皆さんの提言や要望等を参考にして策定いたしました新総合計画に基づき、二十一世紀を展望したアメニティに富み個性と魅力に満ち溢れた大都市の形成に皆さまがたの英知をお借りし、市の総力をあげて邁進する所存であります。

このようなことから、仙台市連合町内会長会との絆をさらに深め、皆さまがたとともに全国に誇り得る大都市「仙台」の構築に全力を傾注いたしますので、会長さんを始め皆さまがたの、なお一層のお力添えをお願いいたします。

終わりに仙台市連合町内会長会が記念すべき二十周年を契機に更なるご発展と、皆さまがたのご健康とご繁栄をご祈念申し上げます。

平成 3 年 10 月 30 日



記念式典場

創立二十周年記念式典

記念式典は、平成三年十月三十日(木)午後二時から勾当台会館に、ご来賓として石井仙台市長、大泉仙台市議会議長をはじめ、三十一人をお迎えし、地区連合町内会長八十八人出席のもとに挙行了しました。

席上、本会の創立時からの会員であるつぎの三氏に対し石井市長から感謝状が贈られました。

折立地区町内会連合会 会長 大沼 悌志

西多賀地区町内会連合会 会長 早川 五兵衛

八幡地区町内会連合会 会長 蒔 田 勤

次 第

一、開 会 仙台市連合町内会長会 会長 大沼 悌志

二、祝 辞 仙台市長 石井 亨

三、来賓紹介 大泉鉄之助

四、感謝状贈呈

五、記念講演 仙台市連合町内会長会創立以来の会員に

六、閉 会 尚綱女子短期大学 教授 出村 和子

宮城野区



平成三年度青葉まつり開催
され、各連合町内会長はじめ
区内より多数参加

青葉区役所がスタートしてか
ら三年、それぞれの地域では区
役所との地域懇談会を開催する
等、地域活動を活発に進めてお
るところであります。

私共青葉区連合町内会長協議
会の平成三年度主な事業につい
て紹介させていただきます。

三年四月十一日
青葉区連協監査

三年四月二十日
青葉区連協定期総会

1.平成二年度事業及び決算
2.平成三年度事業及び予算
3.役員改選

三年五月十九日
平成三年度青葉まつり開催
され、各連合町内会長はじめ
区内より多数参加

青葉区



青葉区連合町内会長協議会

平成三年の活動

三年六月四日

青葉区役所と連合町内会長
との懇談会を開催・住民自治
組織活動及び区役所行政につ
いて活発な意見等が発表され
有意義に終了した。

三年六月十八日

ふるさと創生事業・第三回
青葉区民まつり委員会参加

三年七月十一日

仙台市町内会役員永年勤続
者表彰式典が市民会館で開催
され各連合会長出席

三年九月三日

ふるさと創生事業推進協議
会及び第三回青葉区民まつり
実行委員会が開催

三年十月十八日

ふるさと創生事業推進協議
会及び第三回青葉区民まつり
実行委員会開催

三年十月三十日

仙台市連合町内会長会創立

区連協三年目の活動

仙台市の区行政もようやく地
につき我が宮城野区も過去二年
の業績を基礎に、一歩着実に
前進しております。何んと申し

ましても我が宮城野区は今後の
仙台市発展の要であります。
各区年中行事の一つであるふ
るさと創生実行委員会主催の

ドホテルで開催し、現在まで
の経過報告をする等有意義に
終了した。

四年二月十二日

宮城地区との合併懇談会を
勾当台会館で開催・青葉区連
協より四名、宮城地区より三
名出席

四年二月十八日

青葉区連協だより第四号編



(一番町)

「み・や・ぎ・の・まつり」も
今年から県下各市町村との文化
交流をめざして区民だけのイベ
ントではなく他地域との親睦親
善を図り、今回は仙北の町・鶯
沢町と提携し十月二十日のまつ
り当日、両町の郷土芸能ハッ鹿
踊りの披露や物産展を会場に設

集委員会

四年二月二十一日

青葉区連協役員会

1.理事会の開催について
2.宮城地区との合併等につ
いて

青葉区連合町内会長協議会

副会長 伊藤 馨



青葉区民まつり(市役所前)

営、町の物産品や同町観光マリ
ンパーク宣伝を区民にアピール
して区民との交流を図り大好評
を博した。

更に昨年に引き続き地元学講
座では、柳江地区与兵衛沼の由
来や与兵衛古窯跡群の歴史そし
て小田原山の変貌など日に日に

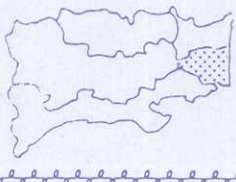
変り行く様子を地元の受講生の皆さんが真剣に学び、又榴ヶ岡地区においては昔の軍隊の町、歩兵第四連隊を核としての町づくりの昔話など、特に同地区は都市計画整理事業によりここ数年の間に昔の面影がなくなる運命にある地区で、この講座の記録は後に同地区の歴史の重要な資料になることでしょう。

今年の宮城野区として特記する一つに仙台サンプラザのオープンがあります。ながらく大集会施設に恵まれなかった当区としては平成三年春オープン同館は、宮城野区の自慢の一つで、

宮城野区だけでなく仙台市の誇りです。近代的設備をもつ仙台サンプラザで平成四年の成人式が盛大に開催されました。

仙台市は区制施行初年度より

若林区



当若林区連合町内会長協議会平成3年度の主な事業活動について、開催順に紹介させていただきます。

1. 雲仙・普賢岳災害見舞金に

区ごとに成人式を施いたしてありますが、我が宮城野区に大集会施設がないため他の区のお世話になっておりました。初年度は青葉区と合同で川内県スポーツセンターで共催、昨年の第二回目は同じ青葉区の青年文化センターで単独で実施しておりますが、第三回目の今年が初めて区内の集会施設の仙台サンプラザにて実施と決定、関係者一同歓迎いたしております今後の仙台市の発展に当区は重要な役割を果たすものと思います。

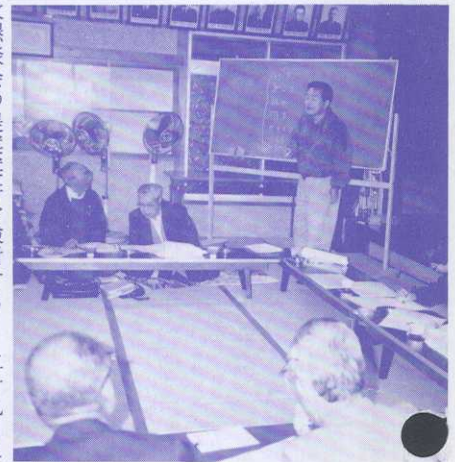
仙石線の地下化事業は順調に進み更に仙台新港は国際工業港として躍進する玄関口として、又国際見本市の開港など今後仙台市発展には欠くことの出来ない宮城野区であります。

我々の区連協も隔月定例会を開催年間行事の立案実行や、市

若林区連協の活動について

ついて

7月25日開催した理事会において、かつて宮城県沖地震のさい、全国の方々から数多くの励ましの見舞等を寄せられ、再建の大きな力となったことを教訓として、単位町内会へ呼びかけ見舞金を贈ることとした。その結果、各町内会の協力により区



政懇談会の提案案件を検討する
など地域代表としての責任を果たしております。

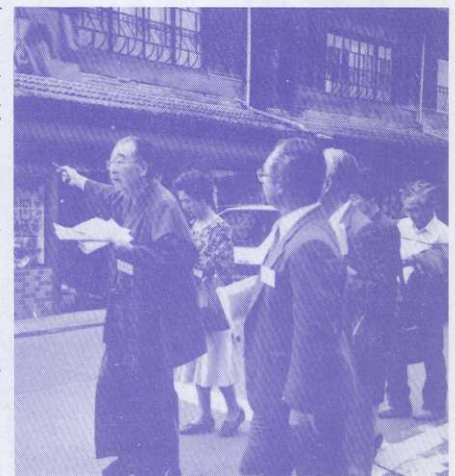
今年には区役所創立三周年にあたりますので我々宮城野区連合町内会長協議会が主催して、区内各種団体並びに事業所に呼びかけをいたし、宮城野区役所創立三周年記念祝賀会として二月

二十九日に宮城第一ホテルにおいて開催し、区民との交流を図り出来るだけ行政と区民との交流のパイプ役的役割を果たすべく努力をしております。

又当宮城野区は新しい都市の町づくりとして仙台駅東口より宮城野原運動公園まで約八〇〇米の直線街路を全国でも稀に見協として全面的に協力し両日とも好天にめぐまれ八万一千人を越える区民の参加があり、ふるさと意識の高揚とコミュニティづくりに大きく貢献した。

3. 若林区町内会長移動研修会の開催
11月29日、区内の町内会長100名の参加を得て山形市において、山形市の連合会長等との懇談会を開催。特に町内会運営の諸問題をテーマに町内会の運営方法、日赤、共募、ごみ問題、ワンルームマンション問題等幅広く

11月3日・4日の両日にわたり開催された第3回「若林区民ふるさとまつり」に対し、区連



るイベントモール通りとしての近代的街づくりを展開、緑と水を豊富にとり入れた素晴らしい近代的街路となります。

宮城野区連合町内会長協議会
会長 永田 百男



(仮称) 若林警察署の設置に関する陳情
(宮城県庁)

発足三年目を迎えた太白区連協は、加盟十八連合会、会員二百四十四町内会の組織となり事業も軌道にのり、街づくりの研修、実践に取り組みました。

ご承知のとおり、太白区は商業地域、住居、農業、リゾート地域が見事に調和した、緑豊かな地域であり、大きな可能性を秘めた地域でございます。



活発に意見の交換を行い、その後山寺（風雅の国）で昼食をとり参加町内会長の親睦を深め、



町内会長移動研修会(山形市役所)

石井市長さん、尾崎区長さんには、太白区の発展のため、第一に長町副都心構想の早期実現、第二に都市計画道路、国道二百八十六号の整備促進、下水、雨水排水の整備促進等々ご要望申し上げておるところであります。それにつけても、各々の町内会が地域の特性を生かし、会員相互の絆を強めながら地道に街づくりに取り組むことが肝要であると存じます。

そこで、沢川環の六つの町内会が、沢川環の文化推進協議

太白区連協の街づくり

会（会長藤橋 剛）を結成し、「蜚の里」づくりに取り組んでいる様子を簡単に紹介します。活動の第一は、第四日曜日を清掃日とし清掃にあたる。第二は、ゴミ不法投棄防止の看板を設置し浄化思想の啓発を進める。第三は、沢川の水質、水棲生物の調査を行う。第四は、蜚の幼虫の餌になる「カワナナ」の放流を行う。これらは、ふるさと創生事業の一環として、県、市、区地域振興課と連携を取り継続されており、近々蜚の里」実

また芭蕉記念館の見学など有意義な一日を過ごすことができました。町内会長から好評をいただいた。



若林区民ふるさとまつり

4. (仮称) 若林警察署の設置に関する陳情の実施
現在の仙台南警察署が平成4年度当初太白区に移転することに伴い、若林区にのみ警察署が無くなる。近年、防犯、交通安全、青少年の健全育成など警察と連携して行う事業が多くなるとしても、若林警察署の設置が必要であり、12月11日、区内選出の県議3名全員の紹介により、本間宮城県知事（川崎副知事代理）及び田中宮城県警察本部長に対し、堀江会長他理事多数出席で、直接若林警察署設置の陳情を行った。
5. 市長・区長を囲む懇談会の開催

現が期待されています。

活動 日誌
四月十八日、区連協総会を開催。平成二年度の事業、会計報告、平成三年度の事業計画、予算について審議、今後の街づくり等について活発な討議を経て方針を決定する。

四月十八日、区連協主催市長を囲む懇談会を開催。

石井市長、尾崎区長、市幹部職員が出席。

長町副都心構想を中心とする街づくりについて、市長の基調講演を頂き討議理解を深める。

五月十九日、青葉まつり開催され、区長、連合町内会長ほか、太白区から六十名参加。



太白区民ふるさとまつり

雲仙普賢岳災害見舞金の寄託
(河北新報社)

(松川だるま行列を行う。)

六月五日 区連協全体会を開催。茂庭台学区連合町内会の設立を承認した。

六月十日 鈴木茂雄副会長が市政功労者として表彰される。六月十一日 闘病中でありま



泉区連合町内会長協議会は、今年度新たに4連合町内会の加入があり、24連合町内会で組織運営がされています。

平成3年6月15日に開かれた総会において、執行部の充実を図るため役員の見直しが行われ新しく理事2名を置くという規約の改正がありました。また、役員の改選もあり、新会長のもと新しい体制で事業を行ってき

ています。これまでの主な事業を次に紹介します。

▽連合町内会長研修会

平成3年11月19・20日連合町内会長を対象に開催しました。

まず、泉区役所において泉区選出市議との初顔合わせ及び懇談を行いました。その後福島市

した太田勉副会 去。合掌。

七月九日 区連協全体会を開催、区民ふるさと創生事業への取り組みを討議。主体的、積極的に参加することを確認する。

九月二十七、八日区連協移動研修会(猪苗代湖方面)

新体制で各種事業を展開

において、福島市町内会連合会連絡協議会と交流を行いました。

市議との懇談会には、会員20名・市議9名が出席し、泉区民

の中で関心の高い県立高校誘致問題等について懇談がなされま

した。これからもこのような会合を持ち、区連協及び区選出の

市議が協力しあいながらよりよいまちづくりを進めていくこと

で意見が一致し、懇談を終了しました。

福島市では、仙台市と同様の組織があることから視察の依頼をし、快くお引き受けいただき当日の交流となりました。

互いに組織の説明及び市との関わり、町内会活動等についての話をしました。その中で特

に興味のある話を伺ってきたので紹介します。町内会活動に

対しての損害保険制度です。町内会主催する運動会やお祭り等

で起こる事故に対し救済してく

街づくりの視察と討議をとおり大きな成果をあげた。

十月二十日 太白区民ふるさとまつり(本まつり)開催

連合町内会長全員が実行委員として「まつり」の陣頭指揮にあたり、天候にも恵まれ、六万

れるというものです。

この他にも有意義な話をいただき、大変実になる研修会にすることができました。

▽町内会長研修会

平成3年11月24・25日 単位

町内会長を対象に開催しました。泉区内の町内会長(連合町内会

未組織団体含む)に呼び掛け、67名の参加のもと実施されまし

た。研修の内容は、「町内会・自



泉区民ふるさとまつり

四千八百人出があり、区民意識の高揚に大きな成果をあげた。

十月二十九日 区連協移動全体会を開催(川崎町釜房湖)

区民まつりの反省と街づくりについて活発な討議を行う。

十一月十三日 市主催町内会

治会の法人化についてで、講師は市民局政部長にお願いし

ました。集会所や土地を所有している町内会では、今熱心に検

討されている問題であり、この事務を所管している部長さんの

話を直接聞くことができ、大変参考になりました。

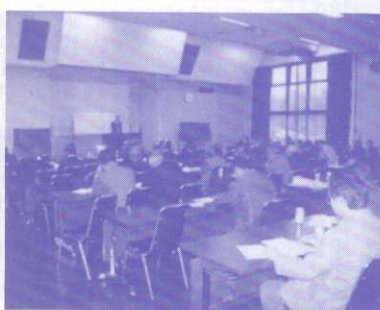
▽区連協だよりの発行

平成3年10月に、今年度前期

までの区連協の動きを掲載した「泉区連合町内会長だより」を

発行し各町内会に配布しました。今年度は3月にもう一度発行の

予定であります。その他、市連長会及び区連協の動きを会員に周知するため、



町内会長研修会(蔵王ハイツ)

長研修会、感謝の会

今年より各区ごとに開催され

太白区二五二町内会中、二〇九町内会長が参加し、盛会裡に研

修と相互交流を行った。太白区連合町内会長協議会

会長 早川 五兵衛

総会や研修会とは別に会員全員による「全体会議」を7月と11

月の2回実施しました。これは執行部からの一方的な通知だけ

ではなく、重要な案件も協議され事業に反映されています。こ

れらの事業を実施するため役員会も数回開かれました。

合併後4年目の泉区には諸問題が山積しており、これらを解決するにあたり区民不在の行政

とならないよう、私達の働きが大変重要な時期にきていると感じています。

泉区連合町内会長協議会

会長 本郷 武之

会長の人事について

平成四年三月六日(金)開催の理事会において、会長に現、会長職務代行者早

川五兵衛が推挙され、同日就任いたしました。

また、副会長に伊藤馨(青葉区連協会長)が庶務

理事を兼ね同日重任しまし

た。

齋藤三郎

な箇所にも門型支柱（写真②）やラケット型支柱（写真③）のようないタイプが採用されている。

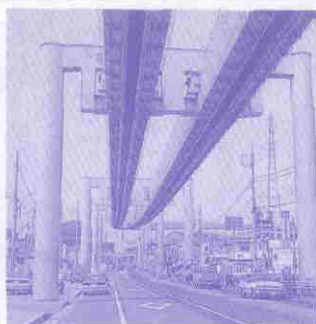
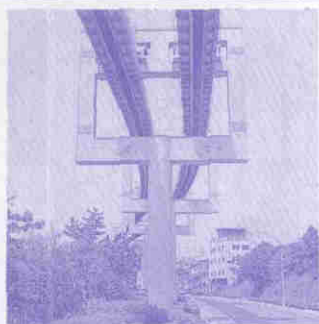
[illegible]

1. 建設の経緯

昭和五十一年度 モノレール
マスタープランの作成。

昭和五十四年三月 千葉都市
モノレール株式会社（第三セ
クター）を設立。

昭和五十六年三月 軌道運輸事業
業を取得（十五・五キロ）



性能 最高速度六十五キロメートル/時、加速度三・五キロメートル/時

台車 ゴムタイヤ独立車輪方式

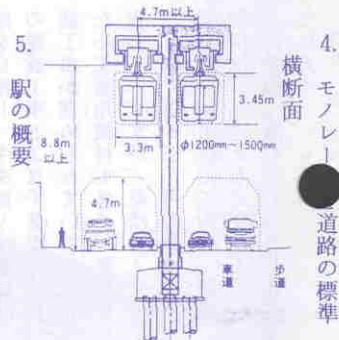
自重 制御電動車二十一・五トン

車両長 二両固定編成三十・二メートル（四両では六十・四メートル）

定員 二両固定編成（座席八十四人立席七十四人計一五八人）

形式 サフエーリュ式懸垂型モノレール

駅は概ね九〇メートル間隔で設置されていて、構造は一階が道路、二階が連絡歩道橋、コンコース、駅務室、電気室等でホームは三階になっている。そして、スポーツセンター、動物公園、千城台の主要駅は、新たに交通広場を整備し、バスとモノレールが利用し易く、交通体系の確立が図られている。



5. 駅の概要

7. 運転計画

専用高架軌道を走行するから交通渋滞や交通事故の心配はなく、定時運行が確保できる。

千城台駅、千城台駅間

(1) 営業時間 五時三十分～〇時十分

(2) ラック時運転間隔 約六・五分

(3) 所要時間 約二十六分

(4) 平均速度 約二十七キロメートル/時

8. 事業主体

モノレールの支柱、軌道桁、



駅舎等の基本構造物については、都市計画事業及び、道路改良事業として、千城台と千城台が共同で施行し、車両、車両基地、信号通信システム等の建設、設備と経営は、県、市、民間の共同出資により設立された第三セクターの「千城都市モノレール株式会社」（資本金八十億円）が担当している。

出資の割合は次のとおり

県二十六％、市二十六％

関連企業（七社）三十五％

金融機関（二十四社）十三％

三、試乗して

現在開業している、仮千城台駅、千城台駅間全線を往復試乗し、都賀駅では途中下車してJR都賀駅との接続状況について、見学しました。

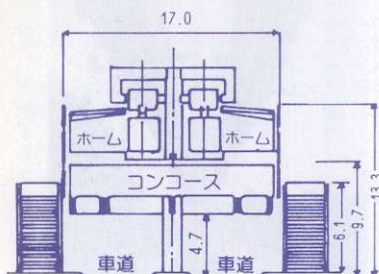
試乗に当たっては、運行中の騒音、振動、横揺れの状況について、駅については、乗り降りの便利性及び安全性について、また全体的には、都市の美観との調和性について、特に注意しました。

1 騒音について

騒音源が、箱型桁内に封じ込められている関係で、車両の外を問わず、騒音と感じられる発生は、全くといって良い程認められなかった。

2 振動、横揺れについて

曲線半径五十メートルの急カーブでも、懸垂リンクの作用

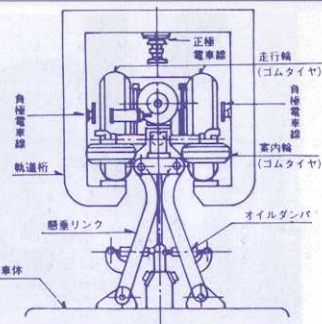


で振動は殆どなく、また脱線防止の為に、ゴムタイヤ案内輪は小さな横揺れも防止し、体に感じられものは殆どなかった。

3 乗り降りの安全性と利便性について

プラットフォームと車両の床面とは、同一レベルであり、車両の揺れもなく、乗り降りの安全性は十分に確保されている。

主要駅は、バス路線と連絡されておりJR都賀駅とは、連絡通路により結ばれていて、利便性についても、特に問題点は認められない。



4. 都市の美観との調整性について

車両は銀色に輝くアルミ合金の車体に、濃淡のブルーのストライプを協調した明るくすっきりとしたデザインになっており、構造物全体としても、景観的に圧迫感はなく、都市の美観との調和性は十分に保たれているように見受けられました。

四、所見

「千葉都市モノレール」は未来都市千葉の快適な交通にふさわしい愛称として「タウンライナー」と名づけられました。タウンライナーは、自動車で混雑する道路の上空を、決まった時間で遅れることなく、安全で便利な乗り物として、ちょっとした空中散歩を楽しむことができ、車窓からはいままで地上からは見られなかった、景観を楽しむことが出来ます。

現在のモノレール千葉駅は仮のものであり、平成五年度の完成を目指し、中央港と千葉駅間の建設工事とJR千葉駅との接続工事が進められていて、そのため工事用機材も多く、景観を害していますが、県はモノレール計画に併せて、再開発ビル等の建設計画も進めており、最終的には、見違えるような素晴らしい景観に落ちつくものと考えられます。

開業して三年が、当初一五

〇〇〇人程の利用者が、本年六月仮千葉駅まで開業するに及んで、二五〇〇〇人、三〇〇〇〇人に急増しているとのことであり、また昨年の台風襲来で、JR各線を含めて電車線が全面的に運休となったが、「タウンライナー」は全く影響を受けなかったということであり、モノレール駅周辺の開発も急ピッチで進められていることも併せ考えると、

「タウンライナー」の将来性は極めて明るいと云えます。

見学会から帰仙した十一月十九日、わが仙台市は、「新交通システム」による東西交通の整備について、一九九五年度着工を目指す」と発表されました。

公共性に根ざした先見性を考えるとき、当然のこととして、「新交通システム」による東西交通の整備を図ることに、私達として、重大な関心を持たざるを得ません。関係当局の速かにして具体的な対応に期待するのであります。

最後になりましたが、今回の見学会に、特段のご配慮と、ご便宜を賜った、各関係者各位に対し、深甚なる謝意を表し、報告を終わります。

市連長会の活動

3・2・5 二十周年記念誌編纂事業

〇「座談会」政令指定都市とこれからのまちづくりについて

4・11 理事会

〇平成二年度会務報告について

〇平成二年度収入支出決算について

〇平成三年度事業計画について

〇平成三年度収入支出予算について

〇永年勤続会員の表彰について

5・24 理事会

〇役員の選任について

〇二十周年記念事業について

6・24 正副会長会

〇副会長(泉区)選任について

〇二十周年記念事業について

10・2 正副会長会

〇二十周年記念事業について

10・30 二十周年記念式典

〇二十周年記念事業の報告

4・1・13 副会長会

〇会長職務代行者の指名について

〇市政懇談会の開催について

〇先進都市の視察について

2・24 副会長会

〇理事会の招集(会長人事)について

〇市政懇談会について

〇会長選任について

計 報

大沼悌志氏(仙台市連合町内会長会々長) 平成四年二月十五日ご逝去なされました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

編集後記

大沼会長の、在りし日のお姿を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

市連長会だより第三号をお届けいたします。

本号は、創立二十周年記念式典のあらましと、各区連協の活動状況の披露並びに千葉都市モノレールの体験乗車のレポートにより取りまとめました。

ご寄稿を賜りました方をはじめ発行にご協力くださいました方々に厚くお礼を申し上げます。

編集委員長

伊藤 馨

編集委員

大友 三郎(青葉区)
山田 駒蔵(宮城野区)
佐伯 武男(若林区)
斎藤 三郎(太白区)
鷺尾栄一郎(泉区)
相原 節雄(事務局)